

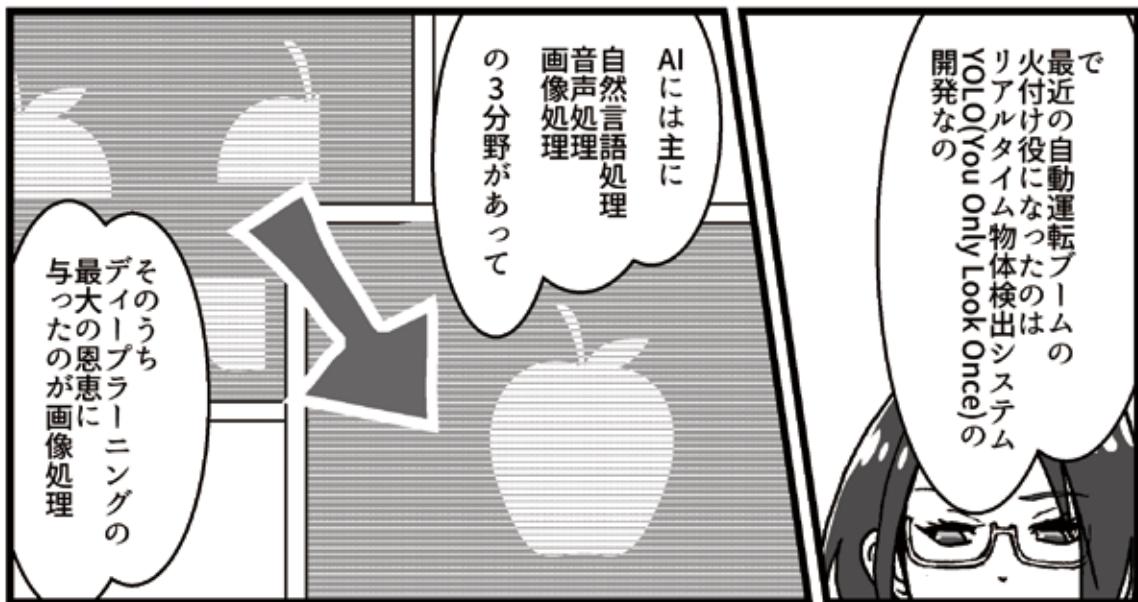
第8章 「AI」の限界？

ところで最近
シンギュラリティ(※60)つて
時代のキーワードになつてゐるね

(※60)Singularity
(技術的特異点)とは
人工知能が発達し
人の知性を超えることによつて、
人の生活に大きな変化が起ころ
う概念を指す。
シンギュラリティという概念は、
人工知能の権威である
レイ・カーブワイル博士により
提唱された。

先日亡くなつた
ホーキング博士は
「人工知能の進化は
人類の終焉を意味する」
って言つたわ

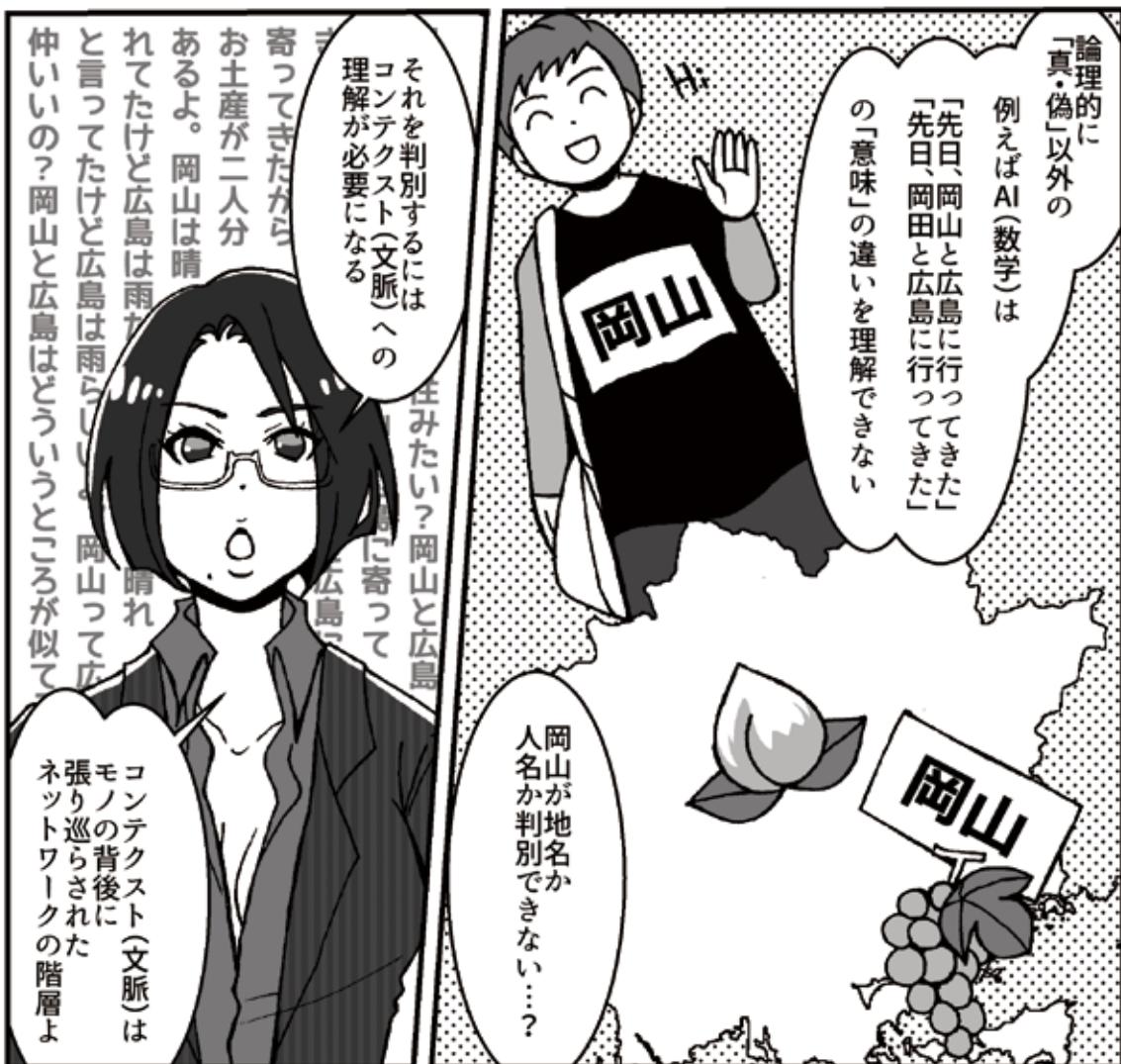
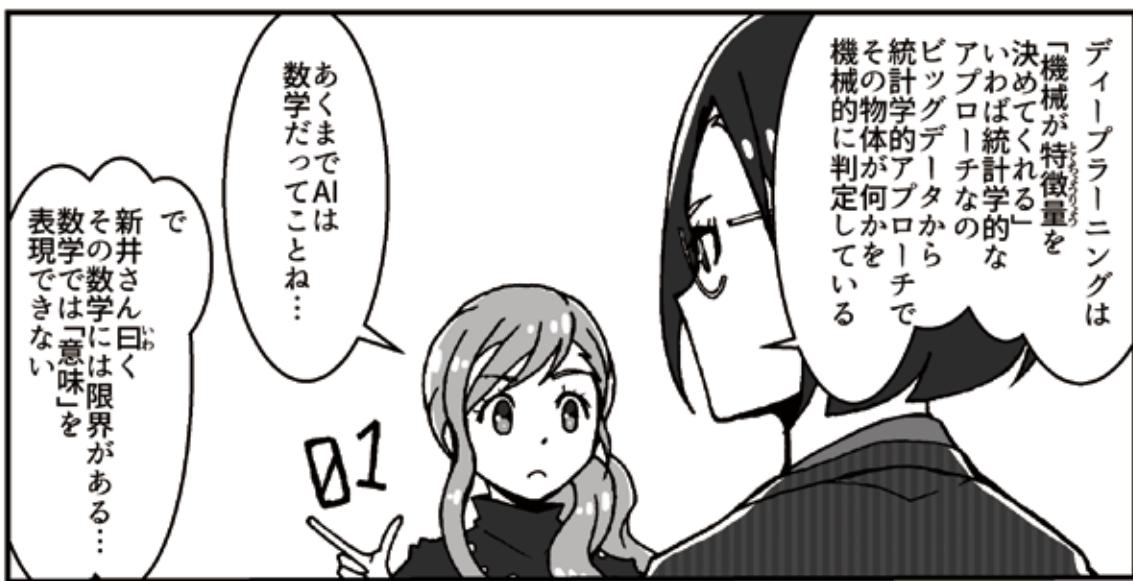


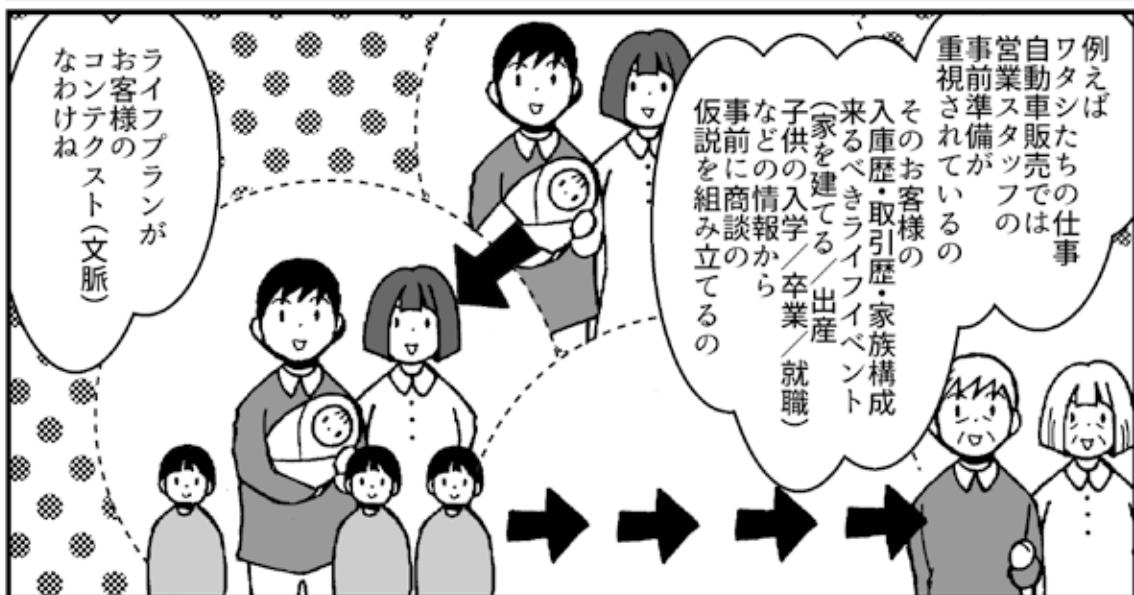


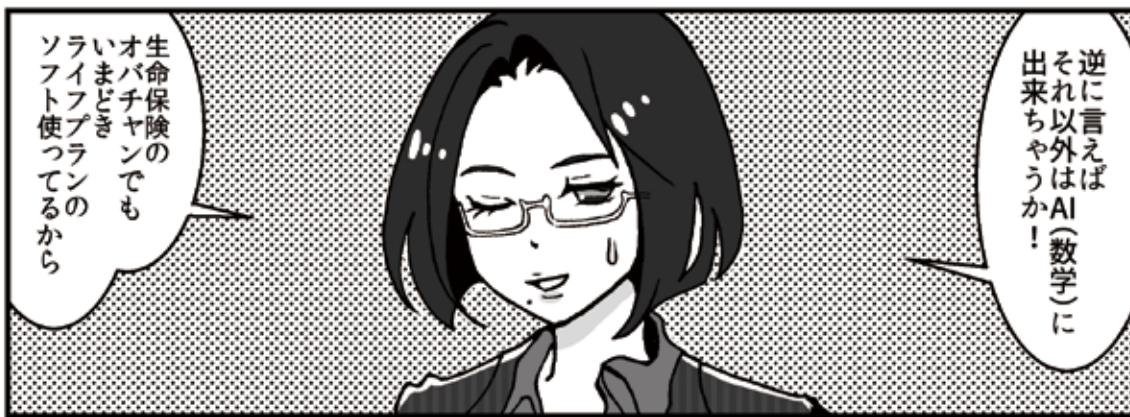
そのうち
デバイス
最大の恩恵
が画像処理

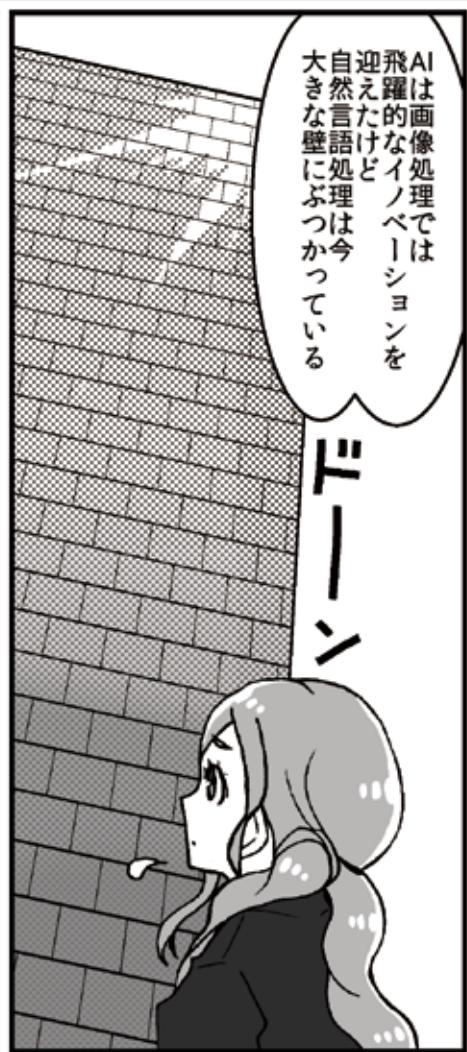
で最近の自動運転ブームの
火付け役になつたのは
リアルタイム物体検出システム
YOLO(You Only Look Once)
開発なの

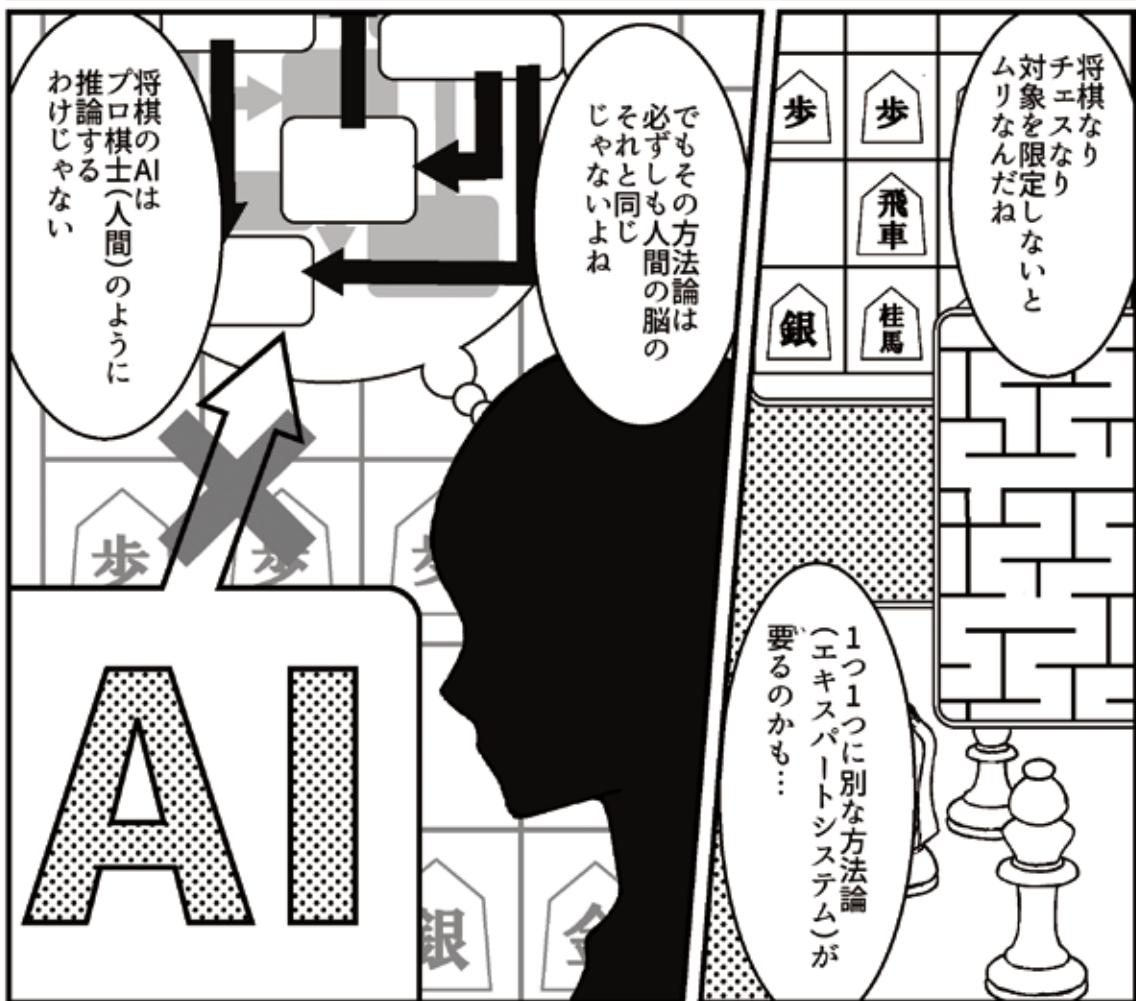


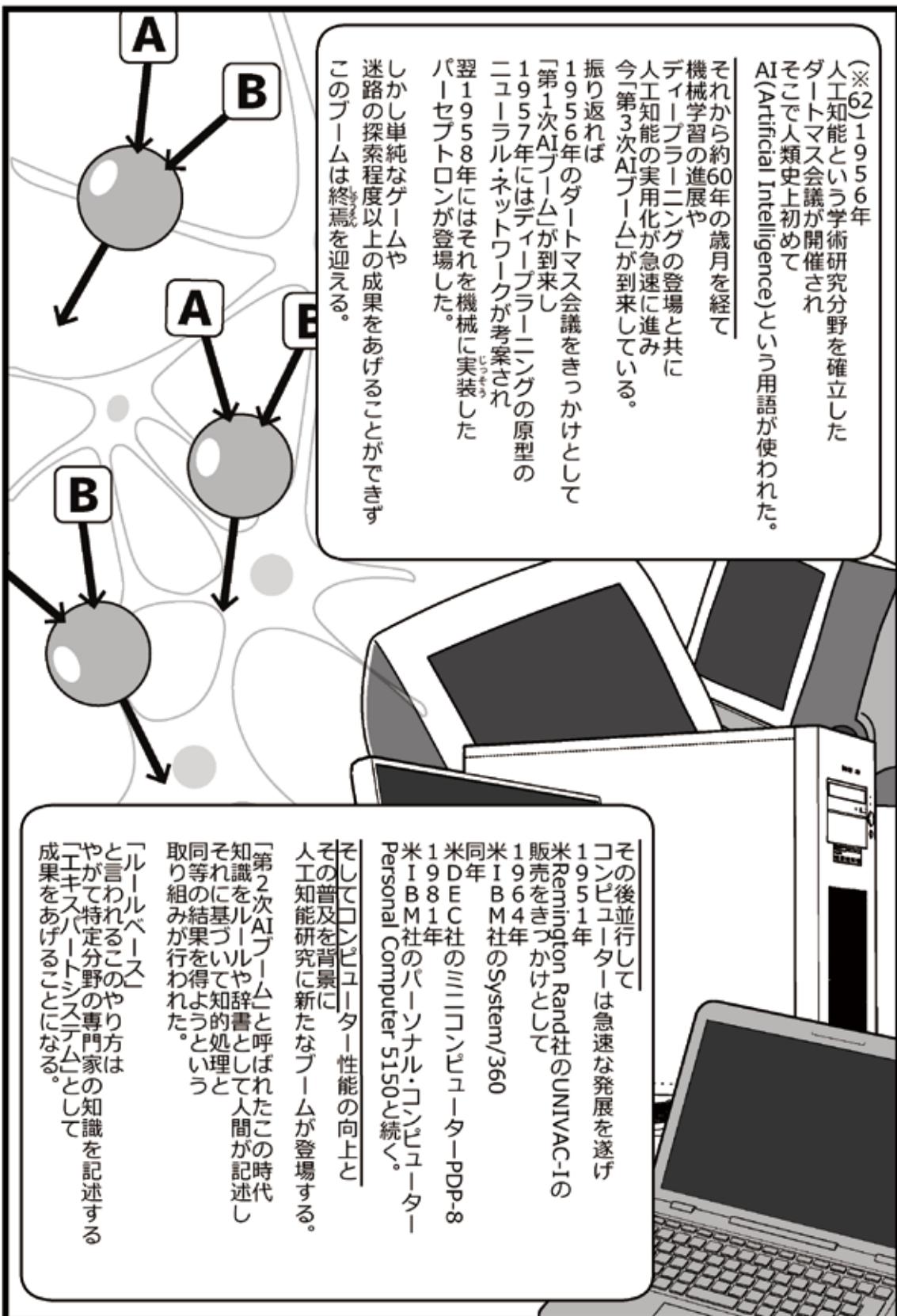


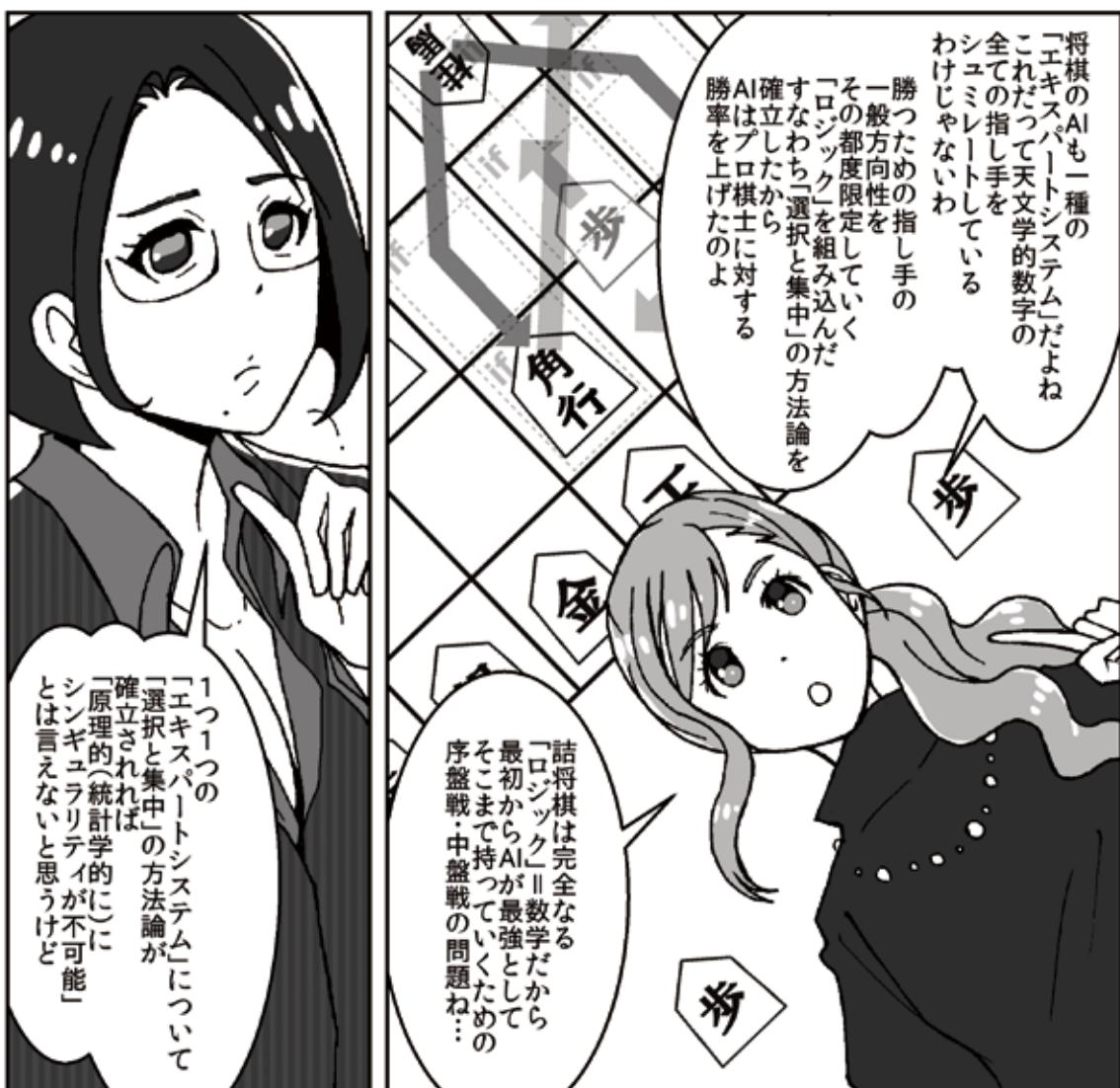












将棋と違って
「闇の力」の国際競争だから
50年は掛からないでしょ

レベル5には時間がかかるかも?

黎明期から出来たことは(※63)
他の「エキスパート」分野でも
出来るかも知れない。自動運転もその中の一つつかことか:

(※63) 1968年に日立製作所のグループが詰将棋のブローグラムを開発し、一般的な盤面と指し手を目標とした「詰将棋」が開発された。これは1970年代中ごろとされています。日本での将棋は、日本将棋連盟による規則改正によって、1970年から正式に採用されました。

100年以上の歴史を持つ専門分野について
50年の将棋の「エキスパートシステム」の歴史は
それ程長いものではないかも知れない。

天文学的な計算が
必要だからつて理由で

AIは数学と工学(応用科学)で発展する
プロ棋士に勝てるAIが出現する前は
新井さんは「それは数学的に無理」って
言つたと思う

